

いのくち遊美の里会便り

No.2 平成 18 年 7 月 15 日発行
発行者 いのくち遊美の里会
代表 中村 滋

集落の資源・環境を守ろう

美しい街づくりをめざし、集落を花で囲む活動を集落全体で取り組み明るくて活力ある町作りを創造しよう

- 6 月・7 月は皆さんお忙しい中、いのくち遊美の里会の活動にご協力いただき大変ありがとうございます。おかげで花たちも順調に育っています。もう一息がんばっていただき、夏から秋にかけて、花かおる街の「いのくち」の姿を実現しましょう

6 月・7 月の記録と予定

- 白山市との協定書締結調印 (6 月 27 日)
- クレマチス等景観のための植栽 (5 月 14 日)



7 月後半の予定

- 7 月 23 日 (水路等草刈・花周り除草・看板設置など)
午前 8:00~10:00 頃 公民館集合
草刈隊 役員 花の会 その他ご都合のつく有志の方のご参加をお願いいたします

- 花の植栽 (6 月 25 日)

ポーチュラカ

タピアン

ひまわり

コスモス



- 生き物調査 (6 月 25 日)

子供会を中心に町内水路 2 箇所での生き物調査。水質は以外によく、どじょうはかなりいました、その他カワナナ・トンボのやご、ミジンコのように変わった動きをするカイエビ、郷用水には魚の姿も多数見受けられました。

へびのぬけがら発見に子供たちは大騒ぎに・・・

- 町内一斉清掃・タピアン・ポーチュラカ植栽のためのマルチ貼り (6 月 11 日)



- 農道水路の草刈 (6 月 11 日)



● 編集後記

詩人高橋睦郎のエッセイ『惜しむと待つと』に「今日の日本人が忘れたことの一つ、いや二つに『惜しむこと』と『待つこと』を挙げたい。過ぎたことを惜しむことは過去と繋がること、まだ来ぬことを待つことは未来を呼び寄せることだ。惜しむことも待つことも忘れた日本人には、たぶん現在しかないのだから。現在しかないから、自分の都合で平気で過去の人びとが作ったものを壊し、未来の人間に残すことも考えないのだから。」・・・遊美の里会の活動を通じて忘れないようにしたいものですね。

気象庁の発表によれば、今年の北陸地方 3~5 月の日照時間は平年比の 77% で、統計のある 1946 年以降最少であったと、天候不順を伝える報道がありました。今後の気象が平穏でと願うばかり。

投稿をお待ちしています。連絡先 作田 22-2636 (編集 S/K/N)